

医科学 見聞録

ぜんそくとスポーツ

はまもと小児クリニック 理事長
浜本 史明

「ぜんそく」とは、抹消の気管支が炎症を起こし、その狭窄における呼吸困難な状態で、重症の場合はスポーツどころか日常生活が困難な状態になります。小児ぜんそくは、幼児から発症することが多く、軽症の場合は約 80% が病気の症状が軽減または消失します。残り約 20%は、成人ぜんそくに移行すると言われています。

小児ぜんそくの多くはアレルギー疾患で、ハウスダストに含まれるダニの分泌物が原因となり、抹消の気管支で分泌物の増加と狭窄が起こり、呼吸困難(特に呼気)となります。成人では、他の原因によることも多くなりますが、病態や治療に関しては大きな違いはありません。

投薬等で発作がコントロールされているときは、運動することに特に制限はありません。
また、スポーツによって誘発される「運動誘発ぜんそく」は、小児から高校生までの発育期にみられますが、医師の指示のもと、家族・学校の協力の下にスポーツへの参加は可能です。

